

**【評議員挨拶】株式会社メルカリ取締役会長・株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役社長・小泉文明評議員**

私がアントラーズの社長になったのは4年前です。そのとき、あまりにもスポーツ業界が断絶されていて、コミュニケーションも取れていなくて、成長する余地はあるのに、それができていないことが最大の問題だと感じました。そこで、アントラーズを通じて、さまざまな実験というか、改革をしているところです。

さきほどのセッションで人材の話が出ましたが、今アントラーズは、セールスのある程度上位のポジションに就いてもらう人を年収1200万円(の条件)で採用しようとしています。一般企業で本当にセールスのキーマンを採る場合、そのぐらいの年収を提示すべきではあるのですが、スポーツ業界から見ると非常に高いらしく、結構びっくりされています。でも、メルカリの経営をしている身からすると、本当はもっと高くても良いのではないかと思っています。業界によって常識、非常識が違う中で、いかにスポーツを産業として育てていくのかを考えると、人材がいなければ、この産業は伸びていけないと思い、今そのチャレンジをしております。もちろん、「やりがい搾取」では駄目で、来てくれる人材が存分に成果を発揮して、未来をつくっていくような、そんな組織にしていくつもりです。本日のイベントでは、さまざまな切り口で議論をしていきながら、産業界だけではなく、政治の世界なども連携をしていきながら、変えていきたいと考えております。